

R8 意見交換会テーマ

番号	基本テーマ	テーマ	内 容
1	生産性向上	建設現場における生成AIの活用	建設現場では、生産性向上や効率化を目的としてDXの導入が進められており、最近では生成AIを活用する事例も増えている。 そこで、現場において生成AIをどのような業務で活用しているのか、その活用による効果や課題をどのように評価しているか、についてお聞きしたい。 また、生成AIの活用を進めるうえで、発注者に期待する支援や配慮、制度・運用面での課題、要望などについてもお聞きしたい。
2		課題解決のための対応策資料の審査・意思決定に時間を要し、円滑な工事執行に影響を及ぼした事例、およびその解決手法	工事を進める中で、問題・課題が発生した場合は、受注者は課題解決のための対応策(例えば、3案比較表で整理、案毎の技術上のメリ・デメを明らかにして、経済比較した上で、優先順位を示した資料のイメージ)を提示し、監督員はその資料を受領し、事務所内で審査・意思決定を行う。 しかし、その審査・意思決定に時間がかかり、工期に少なからず影響を及ぼす事案が多く存在するのが現状と認識している。 これらの現状について、実体験例を挙げて、こういう風に解決したという事例をお聞きしたい。
3	人材確保	土木業界における人材確保方策	土木業界においては官民、業種の別なく人材確保の困難さが喫緊の課題となって久しい。 これに対しての受注者、発注者の取り組みを語り合うことにより、今後の人材確保戦略の参考としたい。 特に、土木業界のイメージの向上方策、魅力の発信方針、メディアやSNS等の活用事例等に注目して、取り組みをお聞きしたい。
4	熱中症対策	熱中症対策による発症実態の改善および更なる抜本対策の必要性	昨今の気象変動に伴う熱中症対策として、発注者から発注される工事において、熱中症対策における費用計上(現場管理費の補正、現場環境改善費)や熱中症対策における工期設定(猛暑日を考慮した工期設定)といった施策が実施されるようになったところである。 これらの施策により、実際工事現場における熱中症の発症実態がどれだけ改善されているか。また、その状況を踏まえて、更なる抜本的対策の必要性についても意見をお聞きしたい。